

広域行政対策特別委員会

- 1 開催日時 平成 26 年 5 月 21 日（水） 13 時 06 分～14 時 10 分
- 2 開催場所 第二委員会室
- 3 説明員 総合政策部長、総務部長および関係職員
- 4 議事の概要

（1）付議事件に係る関係部局の取り組みについて

・中部圏・北陸圏における広域連携の推進について

委員からは、地の利を活かした広域行政の推進について、例えば、大垣駅や米原駅で乗り換えることなく、在来線で、名古屋に直通で行けるように鉄道会社に要望することは、県民にとってメリットが大きい。リニアなど高速鉄道も重要だが、こうした点もきちんと視野に入れるべきとの意見が出された。

（2）委員会の運営方針について

協議の結果、重点調査項目は「広域行政のあり方について」とし、地方自治の目指すべきあり方や地方行政体制に関する諸問題について調査を行うこととされ、調査内容としては、「(1) 広域行政と基礎自治体に係る現状および課題について」、「(2) 関西広域連合を含む広域的取組に係る現状および課題について」および「(3) 中部圏・北陸圏との広域連携について」調査を行うこととされた。

また、運営方針としては、執行部から説明を求めるほか、県内・県外行政調査や有識者などの参考人招致を実施するなど、多面的な調査研究を行うこととされた。



委員会で配布された資料

- 1-1 関西広域連合について
- 1-2 関西広域連合委員会の結果概要について（報告）
- 2 中部圏・北陸圏における広域連携の推進について
- 3 地方分権改革に関する動向等について